

(別紙3)

ス起第1393号-1

令和6年12月12日

米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動広場指定管理者
特定非営利活動法人 ever green
理事長 川添 北斗 様

米子市長 伊木 隆司 印

令和5年度「米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動広場」指定管理者
業務評価書

施設名	米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動広場
施設所管課	経済部文化観光局スポーツ振興課
指定管理者名	特定非営利活動法人 ever green
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（3年目）

【モニタリング終了後の総評】・事業計画書、収支予算書と実際の業務内容を比較して記入する。

- ・毎月の「運営状況チェック表（自己評価）」、半年ごとの「モニタリング評価表」で確認した内容等を記入する。

【施設所管課】

- ・利用者からの意見や要望へ迅速かつ柔軟に対応しているとともに、日常的な清掃なども高い頻度で実施するなど、利用しやすい環境づくりに努めており、全体として良好な施設運営である。
- ・業務の実施にあたり、障がいのあるかたを積極的に活用し就業機会を提供している点は高く評価できる。

【第三者評価】

- ・利用者から清掃について高評価な意見が多く、評価できる。
- ・障がい者雇用についても評価できる。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

- ・新型コロナウイルスの影響等により、未だ自主事業として予定していた大会の実施ができないため、令和6年度は実施できるよう取り組んでほしい。

【第三者評価】

- ・若者の利用が少ないので工夫をしてほしい。

(別紙2)

令和5年度下期「米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動公園」モニタリング評価表
〔令和6年12月〕

施設名	米子市営湊山庭球場及び米子市営日野川堰運動公園		
施設所管課	経済部文化観光局スポーツ振興課		
指定管理者名	団体名	特定非営利活動法人 ever green	
	所在地	米子市安倍 492-2	
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
選定方法	公募・非公募		
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。		
主な実施事業	湊山庭球場でのソフトテニス大会の開催		

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	適正な人員配置である。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	定期的に研修を行っている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	電子予約システムを活用しながら利用促進を図っている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	昨年度に比べ利用者数が微増となった。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。

	(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	高い頻度で清掃を行うとともに、植栽や芝生の管理も適切に実施しており、利用者が快適に施設を使用できるよう努力している。
--	-------------	---	---	--

	(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている。
	(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている。
4	自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	事業を企画・準備したものの、荒天により実施できなかった。
5	情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	適切に行われている。
6	管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	利用者の利便性向上に繋がる管理運営に努めている。

II サービスの質の評価（25点）

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	アンケート調査を実施し、高い満足度を得ている。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	高い頻度で清掃を行い施設の美化に努めるとともに、利用環境の向上に向け迅速かつ柔軟に対応している。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	接客・対応は適切に行われている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	事業を企画・準備したものの、荒天により実施できなかった。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができた管理運営内容であったか	B	市民の健康増進のための施設として役割を果たし

				ている。
--	--	--	--	------

III サービスの安定性の評価 (15点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	妥当である。
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	妥当である。
3 団体等の経営 状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	妥当である。

【総評（所管課評価）】 ・利用者からの意見や要望へ迅速かつ柔軟に対応しているとともに、日常的な清掃なども高い頻度で実施するなど、利用しやすい環境づくりに努めており、全体として良好な施設運営である。 ・業務の実施にあたり、障がいのあるかたを積極的に活用し就業機会を提供している点は高く評価できる。	合計点 (64) 点 / (100) 点 $\times 100 = (64)$ 平均点 (3.2) 点
---	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

※合計点は小数点第1位を四捨五入、平均点は小数点第2位を四捨五入とする。

【補足資料】

1 利用状況

項目	本年度〔令和5年4月～令和6年3月〕A	前年度〔令和4年4月～令和5年3月〕B	対比 A-B	対比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	720	716	4	100.6	
施設利用者数	16,846	16,493	353	102.1	
施設稼働率	78.8%	77.7%	1.1%	101.4	

2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和5年4月～令和6年3月〕A	前年度〔令和4年4月～令和5年3月〕B	対比 A-B(円)	対比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	1,760	1,760	0	100.0	
指定管理料	15,882,700	15,882,700	0	100.0	
合計	15,884,460	15,884,460	0	100.0	

(2) 支出

項目	本年度〔令和5年4月～令和6年3月〕A	前年度〔令和4年4月～令和5年3月〕B	対比 A-B(円)	対比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	7,917,028	10,291,500	-2,374,472	76.9	委託料との間の調整による減
需用費	784,261	486,246	298,015	161.3	修繕料の増
役務費	138,955	118,134	20,821	117.6	
委託料	3,863,702	1,555,005	2,308,697	248.5	人件費との間の調整による増
使用料及び賃借料	33,000	33,000	0	100.0	
原材料費	113,740	87,700	26,040	129.7	テニスコート維持管理に係る実績増
備品購入費	69,389	128,401	-59,012	54.0	他の支出項目の増減に伴う減
雑費・諸経費	2,964,385	3,184,474	-220,089	93.1	
合計	15,884,460	15,884,460	0	100.0	

3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和5年4月～令和6年3月〕A	前年度〔令和4年4月～令和5年3月〕B	対比 A-B	対比 A/B (%)	備考
①事業収支	0	0	0	#DIV/0!	
②利用料金比率	0.0	0.0	0.0	100.0	

③人件費比率	49.8	64.8	-15.0	76.9	
④外部委託費比率	24.3	9.8	14.5	248.2	
⑤利用者当たり 管理コスト	942.9	963.1	-20.2	97.9	
⑥利用者当たり 自治体負担コスト	942.8	963.0	-20.2	97.9	

①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化の方策を検討する。

②利用料金比率：（利用料金収入/収入×100）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：（人件費/支出×100）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：（外部委託費合計/支出×100）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	備考
①自己資本比率	51. 1%	1. 5%	36. 0%	28. 7%	-1526. 5%	R5は、期中に土地・建物等を社会福祉法人ばれっとへ所有権移転したことにより前年度に比べ有形固定資産が減額となっているが、長期借入金（土地建物の購入資金として借入）の移行手続きが未了のため、正味財産が赤字となつた。 なお、令和6年度中に移行が完了する見込み。
②流動比率	980. 0%	2447. 0%	2025. 9%	1223. 8%	587. 4%	
③固定長期適合率	18. 3%	86. 4%	92. 6%	93. 6%	67. 6%	
④総資産経常利益率	-0. 5%	19. 5%	-4. 6%	98. 5%	-2230. 5%	同上
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad [\text{例}] 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる資産を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad [\text{例}] 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad [\text{例}] 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100$$

$$【例】200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

※補足資料1～4の各比率については小数点第2位を四捨五入とする。

■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	
固定資産	固定負債
建物及び構築物 200	社債 300
土地 500	退職給付引当金 200
投資有価証券 200	固定負債合計 500
固定資産合計 900	負債合計 1,200
	【純資産の部】
	資本金 600
	利益余剰金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

芝刈り等の維持管理に関する要望へ適切に対応している。

6 利用者アンケートの結果

施設の管理に対して前向きに評価する意見が多い。特に、清掃が行き届いていることを評価する意見が見られる。